

味の素ナショナルトレーニングセンター陸上トレーニング場の段階的な利用制限の解除について

2021年6月1日

新型コロナウイルス(COVID-19)感染・拡大を防ぎ、利用者がより感染リスクを抑えた中で、安全に味の素ナショナルトレーニングセンター(NTC)陸上トレーニング場を利用するために、下記のような段階的な利用制限を設け徹底管理を行う。

段階	利用対象者	他競技団体の利用	施設利用人数	PCR検査	体調確認	移動	宿泊	ウエイトルーム利用 (陸上トレーニング場内)	研修室利用 (陸上トレーニング場内)	トレーナールーム利用 (陸上トレーニング場内)	更衣室利用 (陸上トレーニング場内)
利用対象者を強化競技者と強化対象競技者に制限し、使用時間・人数の制限も行うことで、ごく少数での活動が感染リスクが低い中でできる範囲での施設利用と、徹底したソーシャルディスタンスが確実に保てる範囲での活動ができる。											
東京オリンピック 直前期 6/1-6/30	①強化競技者 ②強化対象競技者 ③JOC強化指定選手 + (利用対象者1名に対し) コーチ、トレーナー1名のみ	原則不可 ※パラ陸上を除く	09:00~17:00 最大40名まで	必須。ただし、JOC派遣前手 続き、JISSクリニック利用者は対象外。	日々の検温記録・行動記録は 提出を求められた場合は提出義務があるため、 記録し保管しておくこと ※ただし、陸連強化費での事業は別途定められたが イドラインを参照のこと。	公共交通機関の 利用を極力控える 利用時は混雑する 時間帯を避ける	利用対象者①②③ + コーチ又はトレーナー1名のみ宿泊可 ※選手同士の一部屋の移動は禁止 ※日帰り利用の選手の食堂利用 及び勝湯の利用禁止	他人との距離を保てる人数での利用 個人で使用する器具は他人と共有せず、 使用後は全て消毒作業を実施	十分な換気状態での利用 長時間滞在を避ける 一度に15人以上の空間を作らない	1組(最大2名)利用のみ	利用はなるべく避け、 少数での利用 (利用の際は窓を開放し、 換気の徹底を行う) シャワールーム利用1名まで
↓											
東京オリンピック 直前期 ~ 東京オリンピック 期間中 7/1-8/8	東京オリンピック代表選手のみ その他のHPSC施設も同様 JISSクリニック・リハビリは未定	原則不可 ※パラ陸上を除く 7/15までパラ陸上との共有利用	09:00~17:00 試合時間に合わせた 時間外利用は要相談 最大40名まで	必須。ただし、JOC派遣前手 続き、JISSクリニック利用者は対象外。	日々の検温記録・行動記録は 提出を求められた場合は提出義務があるため、 記録し保管しておくこと ※ただし、陸連強化費での事業は別途定められたが イドラインを参照のこと。	公共交通機関の 利用を極力控える 利用時は混雑する 時間帯を避ける	東京オリンピック代表選手のみ ※宿泊数に余裕がある場合のみ コーチ、スタッフ宿泊可	他人との距離を保てる人数での利用 個人で使用する器具は他人と共有せず、 使用後は全て消毒作業を実施	十分な換気状態での利用 長時間滞在を避ける 一度に15人以上の空間を作らない	1組(最大2名)利用のみ	利用はなるべく避け、 少数での利用 (利用の際は窓を開放し、 換気の徹底を行う) シャワールーム利用1名まで
↓											
東京オリンピック 終了後 ~ 東京パラリンピック 終了 8/9-9/5	原則利用不可 東京パラリンピック代表選手 優先利用 ※パラリンピック代表選手が利用しない日程 利用は調査出来れば可能	原則不可									

申し込みについて
①上記利用対象者で利用を希望するものは、利用希望日5日前の18時までまでに申請。(提出先:ntc@jaaf.or.jp) ※2月1日よりPCR検査の義務化により検体発注などに時間を要する為、5日以内の利用申請でお断りする場合あり (PCR検査については別紙参照) ※申し込み締め切りまでに利用可能人数上限を超えた場合は、上記利用対象者の丸数字の優先順位上位者を優先する。 ↓ ②利用希望日の2日前までに、NTC担当専任コーチ(東中)から申請者に利用可否の連絡

NTCへの移動の際の留意点
・滞在先出発前の検温の実施。 (37.5度以上の場合入館不可の目安とするが、平素の体温も考慮する。※平素を超える発熱の場合は利用不可とする) ・滞在先からNTCまでの移動中は、必ずマスクを着用すること。 ・ソーシャルディスタンスを保ち、混雑時の移動を極力避けること。

陸上トレーニング場入館時の必須対応事項
・検温は、朝・夜の2度行うこと。 ・入館時に検温の実施(37.0度以上の場合入館不可の目安とするが、平素の体温も考慮する。 ※平素を超える発熱の場合は利用不可とする) ・トレーニング場入り口での手指のアルコール消毒をすること。

陸上トレーニング場利用中の留意点
・運動を行っていない時は、必ず各自で準備したマスクを着用すること。 ・トレーニング中の、不要な私語は慎むこと。 ・大きな声を出すことは避けること。 ・飲み物、タオル等の他人との共有禁止。※ドリンクの冷却についても個人が準備・管理を行うようにする。 ・集団での練習を避け、他人との距離を保つこと。 ・頻繁に手洗い・手指のアルコール消毒を行うこと。 ・運動中に、唾や痰を吐くことは極力行わないこと。 ・トイレ使用後はマイタオル又はトイレ内にあるペーパータオルを使用すること。 ・取材については、日本代表の公開練習等に対しては、NTCのルールに従う。 ・個別取材は原則不可とする。 ・HPSC内で感染者が発生した際の行動制限などのアナウンスの為、 陸上トレーニング場以外での利用の際にも専任コーチングディレクター東中に事前報告する事 ・その他、ここに記載されていない事項についても専任コーチングディレクターの指示のもと安全に使用すること。

陸上トレーニング場利用後・日常生活時の対応事項
・NTC利用後2週間以内に発熱など体調不良になった場合は、直ちにNTC専任コーチングディレクター東中に報告する。 ・NTCでの活動の様子をSNSなどでの発信を禁止する。 ・厚生労働省が発表する新型コロナウイルス感染症に関する情報を、日常から確認すること。 ・厚生労働省が発表した「新しい生活様式」を意識した行動を心がけること。

JISS/NTCでの合宿期間中について
・合宿期間中は原則外出をしない(やむを得ない場合は要相談) ・定期的なPCR検査の実施(検査内容及び検査については別紙参照) ・食堂内での感染対策実施 【お願い事項】 ソーシャルディスタンスの確保 入室時の手指の手洗い、アルコール消毒の徹底 飲食時以外のマスク着用の徹底 【禁止事項】 スマートフォンの使用禁止(やむを得ない場合は退席し、再び消毒してから入室) マスクを外しての会話禁止 食堂への荷物の持ち込み禁止 飲食物の持ち込み、持ち出し禁止

陸上トレーニング場管理者の対応事項
・政府や、東京都が定める緩和措置のステップ、NTC本体の施設利用に関する措置に準じて、陸上トレーニング場の利用制限の段階を変更する。 利用制限の段階については本連盟HPにて公表する。 ・手洗い、消毒等の感染防止に関するインフォメーションの掲示を徹底する。 ・アルコール消毒液を準備複数箇所に配置する。(トレーニング場入り口、ウエイト場、メインストレート部分) ※利用者は使用後各自で消毒を行う。 ・予備としてマスクを準備する(原則利用者個人の利用分は、利用者自身に準備させる) ・トイレ内の温風乾燥機は使用不可とし、ペーパータオルを設置する。 ・諸室利用時の換気を徹底する。 ・ドアノブへの接触を避けるために、ドアストッパーなどを使用する。